

## 平成 25 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに、以下の通り報告いたします。

学 部 名	神道文化学部
事 業 名	アンケート実施の簡便化による授業運営、学部運営の向上プログラム
平成 24 年度実務担当者名	西岡 和彦
<b>事 業 の 概 要</b>	
<p><b>【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？</b>（いずれかにチェック）</p> <p><input type="checkbox"/>計画通りであった <input checked="" type="checkbox"/>概ね計画通りであった <input type="checkbox"/>あまり計画通りではなかった <input type="checkbox"/>計画通りではなかった</p> <p>（以下、<b>本年度の推進事業の概要</b>について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）</p> <p>新入生から卒業生まで、各アンケートを実施した。</p> <p>実施したアンケートは、1 年生対象の新入生アンケート、「神道に関する基礎知識問題」を入学時と 1 年終了時に実施。2 年生対象の進路アンケート、そして卒業生対象の卒業生アンケートである。</p> <p>「神道に関する基礎知識問題」以外は学部で作成し、購入ソフトで集計を行い、FD 推進事業の資料として教授会に報告した。</p> <p>集計作業にはアルバイトを依頼した。</p> <p>このアンケート調査は、本学部創設以来行っており、学生の動向を知ることで、教育活動（修学面、進路問題、メンタル面等）に反映させてきた。</p> <p>「神道に関する基礎知識問題」の実施は、今回からはじめた試みである。新入生が神道に関してどれだけの基礎知識を持っているか、どの問題が得意で、どの問題が苦手であるかを、1 年間の達成度を見るとともに分析することができた。</p> <p>卒業生アンケートは、学部創設以来毎年実施しており、教育面の成果を見る上で役立てている。卒業生アンケートの特徴は、満足度が極めて高いということである。その反面、本学部の卒業延期率はワーストである。その落差の原因は何なのか。これを追究することが、実はアンケート調査実施の最大の目的である。</p> <p>反省点は、経費執行率が 47.0%という低さである。具体的に見て行くと、謝金の執行率は 48.4%であった。この原因は集計を急ぐあまり、学務補助員による支援を請うたことにある。その分、謝金を払う額が減った。次年度は、計画的に執行できるように工夫したい。用品は 75.0%、図書費は 75.2%で、これは複数の業者からあいみつを取った結果である。もっとも反省すべき点は、電算委託費の 0%である。これは業者を決定することができなかったからである。本学部のアンケート調査は 10 年以上の蓄積があり、その蓄積を活用できる業者を探していた。その有力候補社は見つかったが、委託する時間的余裕がなかった。次年度はその有力候補社を中心に検討した上、電算委託する予定である。</p>	